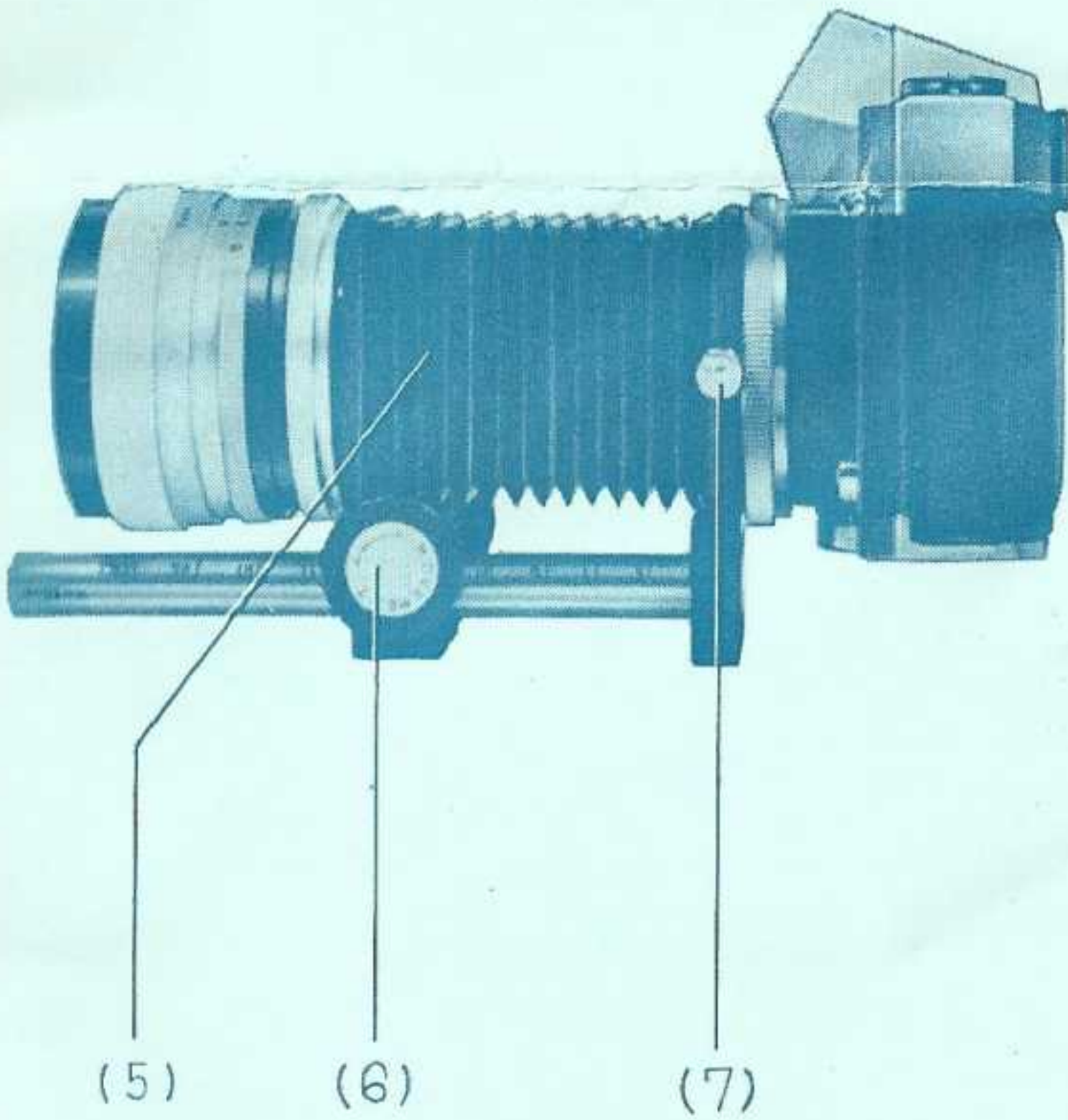


- (1) ボデー接続部
- (2) 支柱と接写倍率目盛
- (3) クランプ・ノブ(蛇腹固定用)
- (4) レンズマウント
- (5) 蛇 腹
- (6) ムーブメント・ノブ(蛇腹伸縮用)
- (7) 蛇腹角度修正用ネジ



(5) (6) (7)

¥ 4,000. —

ペトリベローズ使用表

F 3.5 35 ミリ (距離目盛無限遠の場合)

ベローズの長さ	レンズ前面から被写体までの距離	接写倍率	画面サイズ	露出倍数
37.9mm	23.9mm	1.1	21.8×32.7mm	4.3
42.0	21.8	1.2	21.0×30.0	4.8
55.9	14.5	1.6	15.0×22.5	6.7
70.0	10.1	2.0	12.0×18.0	9.0
83.9	7.2	2.4	10.0×15.0	11.5

F 1.8 (F2) 55 ミリ (距離目盛無限遠の場合)

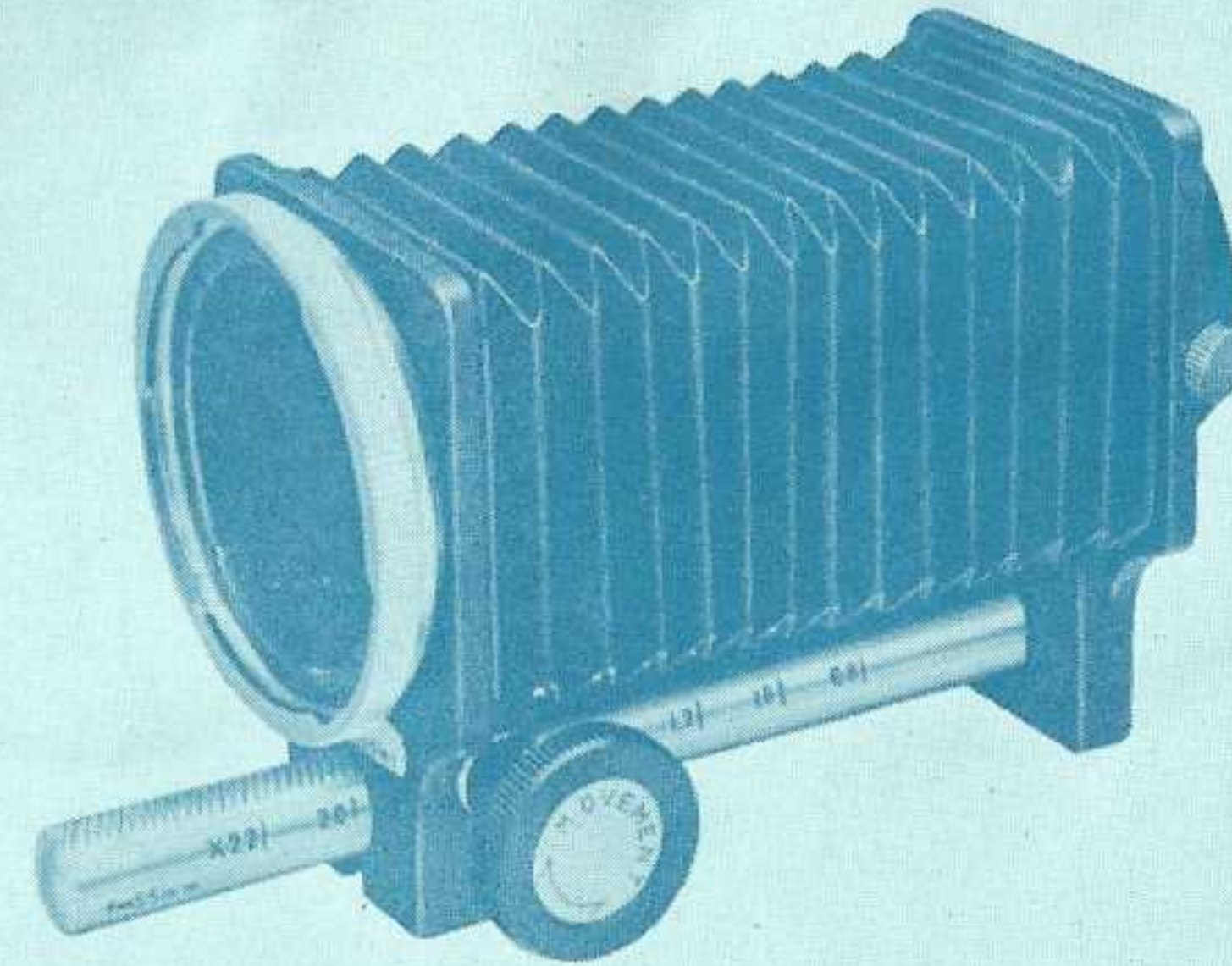
ベローズの長さ	レンズ前面から被写体までの距離	接写倍率	画面サイズ	露出倍数
37.9mm	114.1mm	0.68	35.2×52.9mm	2.8
44.8	101.4	0.8	30.0×45.0	3.2
56.0	87.4	1.0	24.0×36.0	4.0
67.2	77.9	1.2	20.0×30.0	4.8
78.4	71.4	1.4	17.1×25.7	5.8
89.6	66.4	1.6	15.0×22.5	6.8
100.8	62.5	1.8	13.3×20.0	7.8
112.0	59.4	2.0	12.0×18.0	9.0
123.0	56.9	2.2	10.9×16.3	10.2

F 3.5 135 ミリ (距離目盛無限遠の場合)

ベローズの長さ	レンズ前面から被写体までの距離	接写倍率	画面サイズ	露出倍数
37.9mm	622.9mm	0.28	85.7×128.5mm	1.6
40.5	592.0	0.3	80.0×120.0	1.7
54.0	479.5	0.4	60.0×90.0	2.0
67.5	412.0	0.5	48.0×72.0	2.3
81.0	367.0	0.6	40.0×60.0	2.6
94.5	334.9	0.7	34.2×51.4	2.9
108.0	310.8	0.8	30.0×45.0	3.2
121.5	292.0	0.9	26.6×40.0	3.6
135.0	277.0	1.0	24.0×36.0	4.0

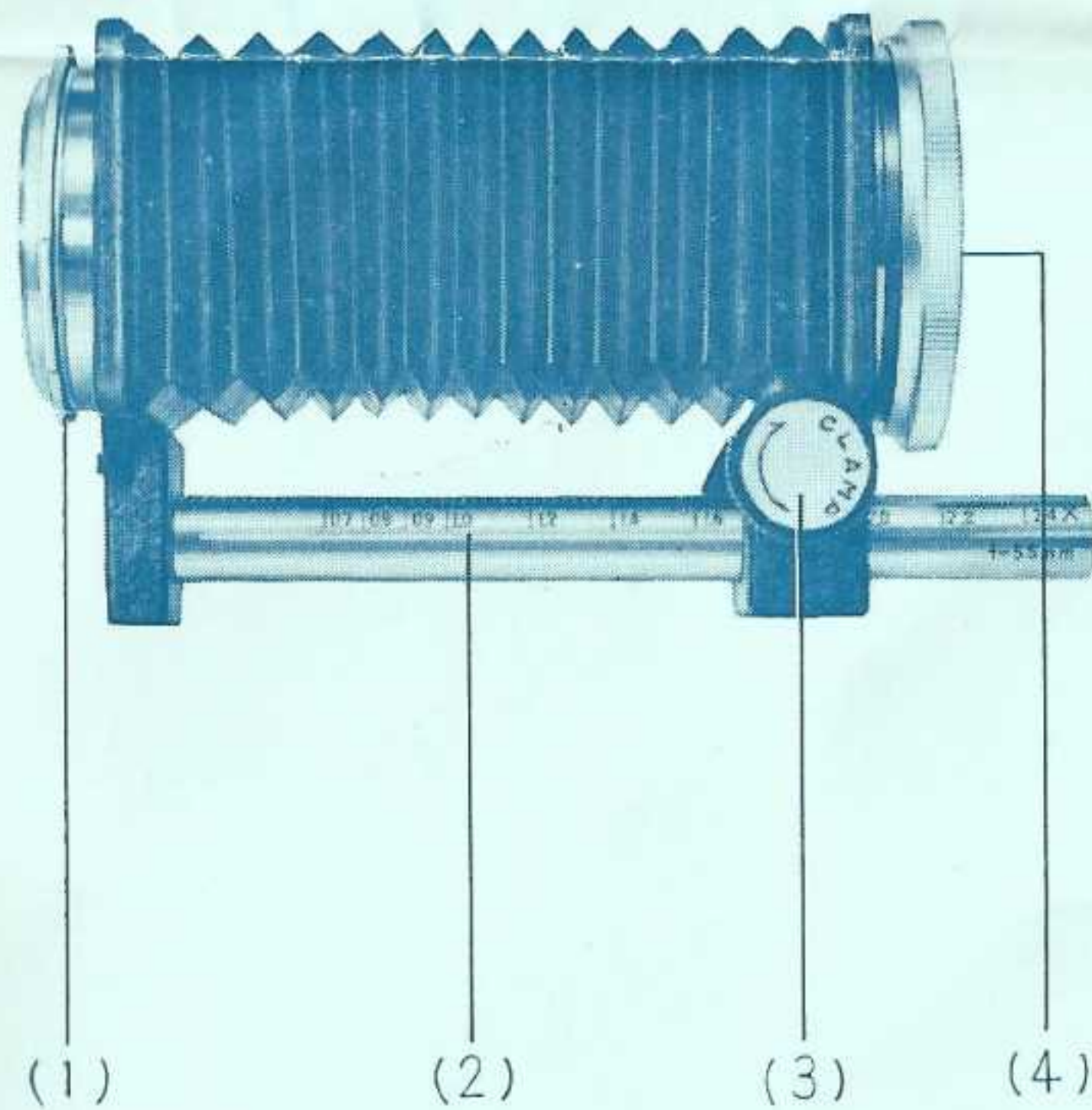
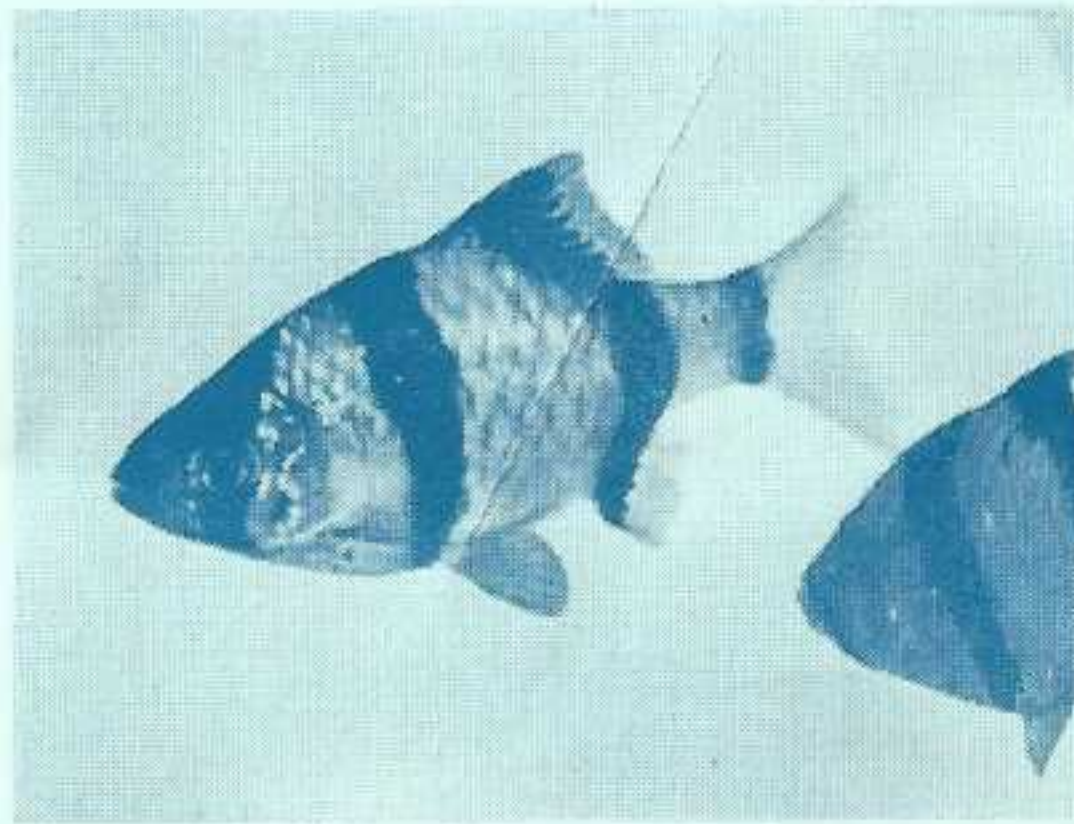
PETRI BELLOWS

ペトリベローズ使用書



PETRI ペトリカメラ株式会社

(東京センター)
東京都千代田区九段 2-5



ペトリベローズの特長

1. ペトリベローズはペトリ一眼レフのボデーとレンズの中間に取付け、小物体の接写を楽しむための用具です。
2. ペトリベローズは蛇腹の伸縮により0.68倍から2.2倍までの広範囲にわたる接写ができます。(標準レンズの場合)
3. 接写倍率は蛇腹を支える支柱に刻まれた目盛によって、直ちに読みとれます。倍率目盛は55ミリ用、135ミリ用の2種類が刻まれています。
4. ペトリベローズは標準レンズばかりでなく、広角、望遠レンズにも使用できます。

接写の要領

露出倍数 — ベローズによる接写では、レンズとフィルム面の距離が伸びますから、露出倍数がかかります。露出倍数は極端な接写になるほど大きくなります。接写倍率から露出倍数を知るには、ペトリベローズ使用表によってきめてください。なお、この倍数は次の式によっても算出されます。

$$\cdot \text{露出倍数} = (1 + \text{接写倍率})^2$$

例えば接写倍率1倍の接写では、 $(1 + 1)^2 = 4$ となり、露出倍数は約4倍かかるということが分ります。

絞りを小さく — 接写では被写界深度(ピントの合う範囲)が極端に浅くなりますから、できるだけ絞りを小さくして撮影することをおすすめします。当然その分だけシャッター速度はおそくなります。

三脚とレリーズの使用 — 接写ではわずかなカメラブレでも画面に大きくひびきます。その上、スローシャッターを切ることが多いので、なるべく三脚とレリーズを用いて、確実な撮影を行なうようにしてください。

ペトリベローズの使い方

1. カメラボデーからレンズを取りはずし、ベローズのレンズマウント(4)にレンズを取付けます。次にボデー接続部(1)をカメラボデーに取付けます。いずれもバヨネットマウントですから、要領はカメラボデーにレンズを取付ける場合と同じです。
2. カメラに固定したとき、蛇腹がボデーに対して傾斜している場合には、蛇腹角度修正用ネジ(7)をゆるめて、蛇腹の角度を正しく位置させ、再びネジをしめて固定します。タテ位置の場合は90度回して固定させます。
3. カメラのファインダーをのぞきながら、左手でムーブメント・ノブ(6)を回し、被写体にピントが合ったところで止めます。ムーブメント・ノブの回転により、蛇腹(5)が伸縮して焦点の合う位置が前後します。なお、焦点調節の際はレンズを絞り開放にしておくことが大切です。
4. 焦点調節をしたら、右手でクランプ・ノブ(3)を回してしめつけ、蛇腹位置を固定させます。
5. 次に支柱に刻まれた接写倍率目盛を読みとり、別表によって露出倍数をしらべた上で、それだけ余分に露出をかけます。例えば接写倍率が1.0×(実物大)の場合は、表によって露出倍数が4倍であることが分りますから、絞りを適正より2目盛開くか、シャッター速度を2目盛遅くしなければなりません。
6. 接写倍率から先にきめて撮影するときは、支柱の目盛に希望の倍率を合わせて固定した後、ファインダーをのぞきながらカメラを前後させて焦点を合わせます。

注・ベローズを使うときは、自動絞りは働きませんから、レンズのオートリングをマニュアル(Manual)にして使用してください。